

ダムだより

No.59



2018.1.19

国土交通省
四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所
TEL 0893-34-3000
FAX 0893-34-3358



鹿野川湖のオシドリ

「ダムだより59号」目次

- 事務所長 新年のご挨拶……………P 2
- 鹿野川ダム改造事業の進捗状況……………P 3
- 山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定……………P 4
- 鹿野川ダムトンネル洪水吐 吐口ゲート設備完成 ……P 5
- 「第33回 肱川ふれあいまつり」が開催されました……………P 6
- 「第58回 文楽合同公演大会」が開催されました……………P 7
- 岩谷地域自治会秋季クローカー大会に参加しました／
生活再建相談所からのお知らせ……………P 8

山鳥坂ダム職員によるブログをホームページで公開しています。
地域の情報などを発信していますのでぜひ一度ご覧ください。

山鳥坂ブログ

検索



●●●●●●●●●● 事務所長より新年のご挨拶 ●●●●●●●●●●

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

去年は、台風 18 号などが襲来しました。肱川流域では、上流の鹿野川ダムと野村ダムの洪水貯留による下流全川にわたる水位低減効果もあり、市街地が水浸しになるような甚大な被害には至らなかったのですが、愛媛県内でもう一つの一級河川である重信川の流域においては、肱川流域よりも多くの雨が降り、最高水位が戦後最高を約 70cm 更新するなど、大雨への備えの必要性を再認識させられました。また、海を隔ててお隣の九州では、7 月に福岡県から大分県にかけて観測史上最も多い記録的な雨量を観測した九州北部豪雨災害があり、甚大な被害が発生しました。

近年は、台風の巨大化や集中豪雨発生回数の増加など、雨の降り方が従前と比べて極端になる傾向にあり、肱川流域における大雨のリスクは高まりつつあるものと考えております。

肱川流域では、ここ 10 数年を振り返って見ても、平成 16 年、17 年、23 年と度重なる洪水被害に苦しめられてきており、治水安全度の向上は必要不可欠な状況です。

以上のような状況を肝に銘じ、改めて、山鳥坂ダム建設、鹿野川ダム改造の両事業を着実に進めてまいり所存です。

山鳥坂ダム建設につきましては、生活再建、地域振興を最優先として、付替道路やその工事のために必要な工事用道路の工事、地質調査やダム本体設計などを進めているところです。今年、付替道路区間の中で最長となる見の越トンネルの工事に着手する予定です。地権者の方々を始め、周辺地域のみなさまに多大なご苦勞・ご協力をいただいているおかげで進められており、心より感謝申し上げます。特に道路の新設や現道の拡幅などの道路工事の進捗により、少しでも利便性の向上を実感していただけるように引き続き進捗させてまいり所存です。

鹿野川ダム改造につきましては、平成 30 年度の完成を目指しています。水質改善や不特定用水の補給を目的とする曝気装置、選択取水設備、低水放流設備などは設置済みで運用中です。残されている事業メニューはトンネル洪水吐のみで、トンネル本体の施工は終え、昨年秋には、吐口ゲートが完成しています。呑口部や吐口部、下流の減勢工などにおける残りの工事についても、トンネル洪水吐による洪水被害軽減効果を一日も早く発揮できるよう鋭意進めてまいります。

工事などの実施にあたり、建設機械の騒音や工事用車両の往来などによりご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、関係者一同、最大限の注意を払って進めてまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、地域がより良くなることを目指して、今年も職員一同精一杯努力してまいりことをお誓い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



山鳥坂ダム工事事務所長

小長井 彰祐

(こながい あきひろ)

鹿野川ダム改造事業の進捗状況

肱川下流域における洪水被害の軽減と河川環境(水質・水量)の改善を目的として鹿野川ダム改造事業を実施しています。現在、河川環境の改善を目的とした選択取水設備などについては完成し運用中、洪水被害の軽減を目的としたトンネル洪水吐の工事は引き続き進めているところです。

トンネル洪水吐については、上流側の呑口立坑が昨年11月に完成し現在ゲート設備の設置を行っているところです。今後、ゲート設備を設置した後、立坑上に操作を行うための小屋を整備していきます。なお、流入水路の施工については、引き続き昼夜2交替制で水中の岩盤掘削の作業を行っています。また、下流側の吐口部については、減勢工を整備するために掘削作業を行っています。

現場周辺では土砂搬出のためのダンプトラックが多数走行しており、大変ご迷惑をお掛けしています。工事現場周辺においては、今後とも一般交通の安全に十分配慮してまいります。また、資機材の搬出入や夜間作業などにより発生する騒音などでご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、何卒ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



平成 29 年 12 月時点

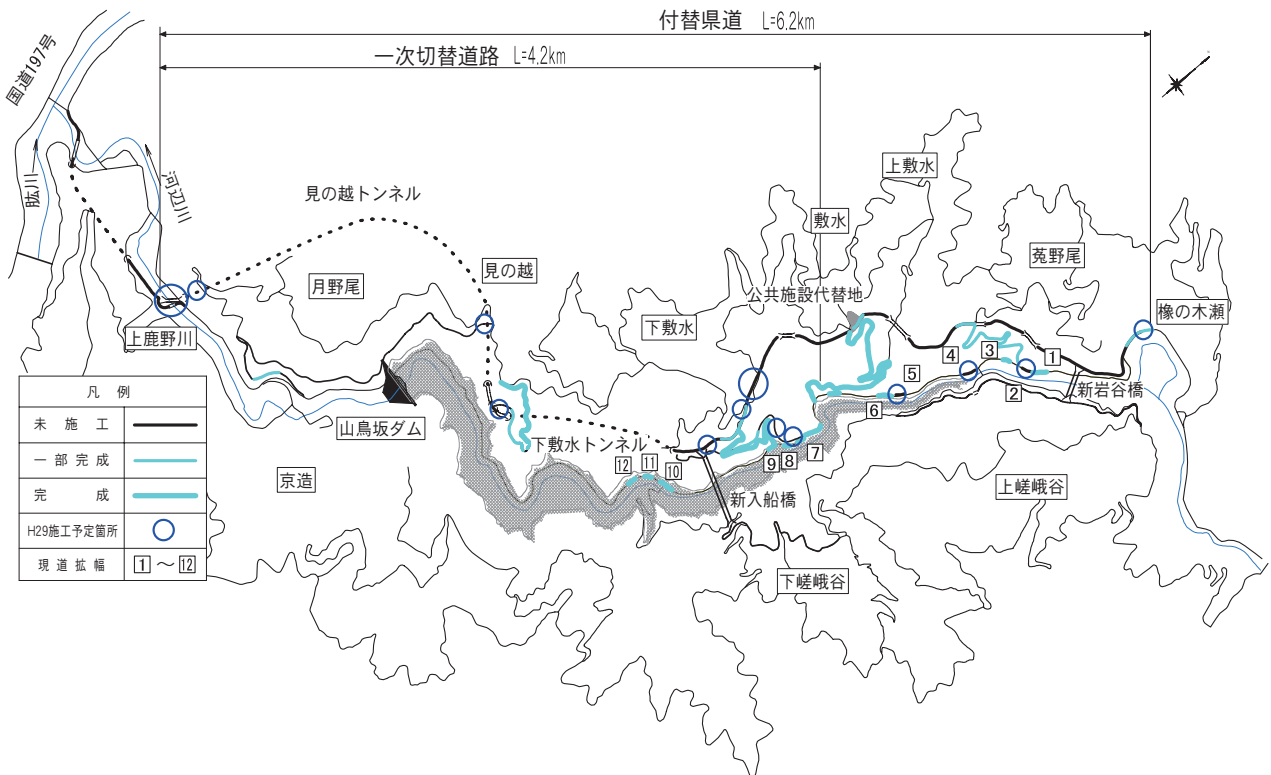


平成 29 年 12 月時点

山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定

現在、上鹿野川地区、見の越地区、下敷水地区、菟野尾地区、椽の木瀬地区において県道（主要地方道小田河辺大洲線）の付替工事や工事用道路工事、現県道の拡幅工事を進めています。今年度は下図の○印の箇所において工事を行う予定です。

工事の進捗に伴い、土砂を運搬するダンプトラック等の通行が多くなってきており、近隣にお住まいの皆様、道路を通行される皆様にはご迷惑をお掛けして申し訳ありません。地元車両の通行の優先や昼間のライト点灯を徹底するなど、地域の皆様の生活への支障を極力生じさせないよう努めてまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



工事实施状況

付替県道の
新設工事
(仮橋架設等)
＜上鹿野川地区＞



平成 28 年 11 月時点



平成 29 年 12 月時点

工事用道路の
新設工事
＜見の越地区＞



平成 28 年 7 月時点



平成 29 年 12 月時点

鹿野川ダムトンネル洪水吐 吐口ゲート設備完成

約4年9ヶ月の歳月を要したトンネル洪水吐の吐口ゲート設備が、昨年9月29日（金）に完成しました。

主な設備は、トンネル洪水吐からの放流量を調整する主ゲート（幅4.2m×高7.5m）と主ゲートメンテナンス用の副ゲート（幅4.2m×高8.1327m）です。

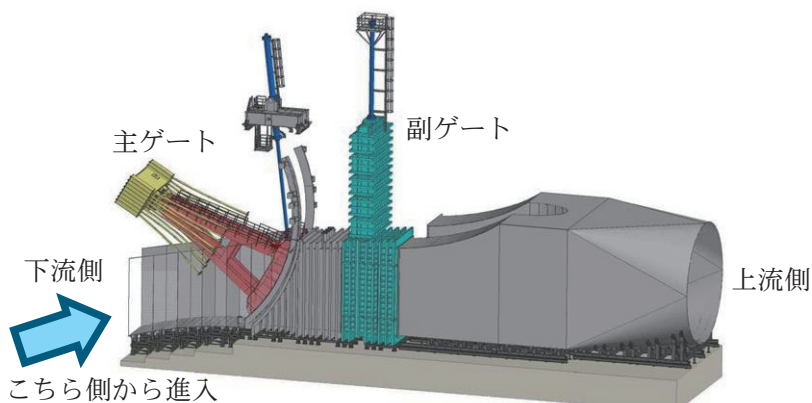
完成を記念して、同10月7日（土）に主に地元肱川町の方を対象とした吐口ゲート設備完成見学会を開催しました。

見学会では、まず工事概要説明の後、トンネル洪水吐内部の見学を行いました。その後、トンネル内部より真っ暗な状態から主ゲートが開く瞬間を見ていただきました。

今回の見学会では、ゲートの動作を間近で見ることにより、設備の大きさなどを実感できる、いつもとは少し違った体験をしていただきました。



吐口部での工事概要説明



吐口ゲート付近のイメージ図



トンネル洪水吐内に主ゲートをくぐって進入



トンネル洪水吐内からの主ゲート動作見学
(真っ暗な状態から光が差し込んだ瞬間)

今後も、トンネル洪水吐の工事は、平成30年度末まで続きますが、地元住民の方に極力ご迷惑を掛けたくないよう留意しつつ、安全に施工していきたいと思っております。

「第33回 肱川ふれあいまつり」が開催されました

昨年11月19日（日）、当事務所近くの肱川風の博物館と風のり広場において、33回目となる「肱川ふれあいまつり」が開催され、当事務所職員も多数参加させていただきました。地元の団体などによる多くの出店があり、ステージショーなどの催しものも行われていました。当日は随分と冷え込んだにもかかわらず、たくさんの方が来場されていました。

当事務所でも、いくつかの体験型の催しを行ったので、ご紹介させていただきます。

恒例の鹿野川ダム見学会では、工事の工程上、トンネル洪水吐内部をご覧いただくことはできなかったのですが、それでも、48名の方に参加いただきました。



ダム見学会の様子



3D シアター体験の様子



降雨体験の様子



キッズコーナーの様子

降雨体験装置「大粒くん小粒ちゃん」では、106名の方に日本最大級である時間雨量180mmの大雨を体感していただきました。

土石流擬似体験装置「3Dシアター」では、232名の方が体験され、土石流の危険性などについて知っていただきました。

キッズコーナーでは、150名を超えるお子様がおもちゃのバックホウを操作して「スーパーボールすくい」を楽しみました。熟練した操縦士も顔負けの腕前を披露したお子様もいたようで、とても盛り上がりました。

たくさんの方のご来場ありがとうございました。

「第58回 文楽合同公演大会」が開催されました

昨年11月23日（木）、大洲市立肱川風の博物館において「第58回 文楽合同公演大会」（愛媛県指定文化財保存協議会主催）が開催され、地元の肱川町大谷地区からも大谷文楽保存会の皆さんが参加されていました。

文楽とは江戸時代初期から続く古典芸能の一つで、「太夫」、「三味線」、「人形遣い」の「三業」で構成されています。「太夫」は一人で物語を語り、物語の情景描写から登場人物の台詞までの全てをこなします。「三味線」は物語の情景を演奏し、その背景や心情を三味線の音色によって表現します。「人形遣い」は舞台上で主役となって動く人形を三人一組となって操り、喜怒哀楽を表現し物語を盛り上げます。



大谷文楽「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」



俵津文楽「伽羅先代萩 政岡忠義の段」



朝日文楽「生写朝顔 宿屋の段」



伊予源之丞「祝い大漁 戎舞」

この大会は、昭和34年に郷土に伝承されている文楽の人形頭等が愛媛県の文化財に指定されたのを記念して、それ以来毎年開催されているそうです。舞台上で太夫、三味線、人形遣いそれぞれが織りなす物語は、演目が終わる度に観客席から大喝采が起っていました。

興味をいだかれた方は、是非見に行かれてはいかがでしょうか。

岩谷地域自治会秋季クロッケー大会に参加しました

毎年恒例の「岩谷地域自治会秋季クロッケー大会」が昨年11月11日（土）に開催されました。朝方に一雨降り、グラウンドが少し重たい状態でしたが、地元岩谷地区のチームに加え旧肱川町内の大谷地区の2チームが参加され、合計15チームでにぎやかに開催されました。

クロッケーは、チームで連携してチームメイトの玉を前に進めたり、相手の玉を遠くに飛ばしたりする競技で、個々のプレーよりも戦略が重要視されます。

当事務所からも腕に覚えのある職員？を選抜して4チームが参加しましたが、経験が乏しい我々山鳥坂ダムチームは、地元のチームには歯が立たず完敗でした。

地元の方々とクロッケーというレクリエーションを通じて楽しく交流ができました。春の大会もよろしくお祈りいたします。



生活再建相談所からのお知らせ

当事務所では、山鳥坂ダム建設事業に伴い、ご迷惑をお掛けする地域住民の方々の生活再建対策の一環として、平成5年度より大洲市肱川町山鳥坂地内に開設した生活再建相談所において生活再建相談を実施してまいりました。来所された多くの方々のダム事業に伴う精神的負担の軽減を図るための生活再建に関する相談の場として、ご利用いただいていたところ

です。
業務委託先の大洲市の生活再建相談員にも生活再建相談所に駐在していただき、生活再建対策に関する相談窓口として、来所者の方々との個別相談を中心に実施してきており、用地交渉が本格化した平成25年度からは、用地をご協力いただく方を対象に、専門家による税金や登記手続等の無料相談も開催させていただきました。

これまでに多くの方々と相談を重ねた結果、生活再建相談所での生活再建対策は、一定の役割を果たせたものと判断しており、今年3月末日をもって、生活再建相談所での相談業務を終了させていただくこととしますので、事前にお知らせいたします。

（3月末日までは、引き続き相談所での相談業務を実施しておりますので、お近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。）

生活再建相談所に来所いただきました方、関係されます方には長きにわたり相談所での相談業務にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

ダム事業は、まだ道半ばの段階ですが、早期の完成を目指して引き続き、事業を推進してまいりますので、ご協力よろしくお祈りいたします。

